

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭栄高等学校長 松田 素寛

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>1 自主的・主体的に学ぼうとする意欲を高める学習指導の工夫・充実</p> <p>2 よりよい学校生活を目指すための健康・安全指導の強化</p> <p>3 進路意識の高揚と望ましい自己実現のための能力の伸長</p> <p>4 新たな研修制度への対応</p> <p>5 活気ある明るい職場環境の構築（働き方改革の意識）</p>
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>ア ICT機器を活用し、生徒の自発的、意欲的な学習態度の育成を図り、学力向上に努める。</p> <p>イ 「主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善」に取り組み、生徒に達成感を持たせる指導に努める。</p> <p>ウ 「総合的な探究の時間」により、体験を通じた実践力の育成に努め、ポートフォリオ等の作成を推進する。</p> <p>○ 成果としては発展途上ではあるが、計画的に取り組むことで探究活動の充実に向けた道筋を作る1年となった。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>この1年で作った道筋を生かし、保護者に改善が認められるように努力してほしい。</p> <p>保護者評価が下がった点は改善を要するが、学校や教員の努力だけでは難しい。</p> <p>学外から講師を招くなどで学習の必要性を理解してもらい、主体的な学習に結びつけることも可能かと思う。</p>
改善方策	<p>・個々の教員の努力にとどまらず、共通理解や集団による研修での組織力向上を図る。</p>	
生徒指導	<p>ア 学校・家庭・職場間の連携を密にし、基本的な生活習慣を確立させ、主体的に生きる力を育成する。</p> <p>イ 生徒理解を深め、教師と生徒との信頼関係を確立し、適切な個別指導に努める。</p> <p>ウ 他を思いやる心と自らの心身をたくましく鍛える心の育成に努める。</p> <p>○ 家庭との連携を密にして、生徒個々が自立のために主体的に行動できるよう努力するとともに、生徒との面談結果を基に生徒理解研修を行うことで、共通理解を図って指導を展開することができた。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>家庭・教員・生徒間の連携がうまくいっていることがうかがえる。今後も維持してほしい。</p> <p>家庭・生徒・学校の連携がうまくいっていることを評価する。生と面談に力を入れてうまくいっていることを評価する。</p> <p>生徒と先生方の関係性が生徒からも高く評価されている。</p>
改善方策	<p>・生徒指導技術の向上を目指し、さらなる研修の充実を図る。</p>	
進路指導	<p>ア 社会的、職業的自立に向けて、各学年のキャリア教育を系統的・計画的に推進する。</p> <p>イ インターンシップ等体験学習の機会の提供と参加の推進を図り、進路意識の向上を目指す。</p> <p>ウ Fの時間を通じて、4年生へのキャリア教育を行う。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>生徒だけではなく、保護者の進路相談や講話があると親子で考える機会になる。</p> <p>1・2年生から進学就職含めた指導は意識付けになるので期待している。</p>

	<p>エ 外部機関等との連携を密にし、情報収集・情報発信を積極的に行い、教育活動に生かす。</p> <p>○ 進路指導部を新設し、3・4年生の進路活動については計画的に推進し、インターンシップを3・4年生全員参加として、例年以上に進路意識の向上を図るなど、キャリア教育を計画的に行い、進路意識の向上を図ることができた。</p>	<p>進路に関するアドバイスは生徒から高く評価されている。</p> <p>早期から進路について考えることは重要で、キャリア教育により進路意識が向上したことを評価する。</p> <p>進路の参考になる活動が充実していることがとても良い。キャリア教育やインターンシップなど進路の参考となる活動が充実していてとても良い。</p>
改善方策	<p>・キャリア教育の充実のため、全学年系統的な進路指導を計画する。</p>	
健康安全指導	<p>ア 生命の尊さを基本に据え、健康安全指導の徹底を図る。</p> <p>イ 体育的活動への積極的な参加を通し、体力向上を図る態度の育成に努める。</p> <p>ウ 日常的に身体状況を把握させ、自己の健康管理の習慣を育成する。</p> <p>エ 交通安全の啓発・事故防止の徹底に努める。</p> <p>○ 生命の尊さを意識して、適宜、柔軟に健康安全指導を設定した。また、部活動についてはさらに盛んに行われるようになった。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>研修・部活動・校内のイベント等が充実している。</p> <p>交通安全の活動は今後も続けてほしい。</p> <p>必要に応じた講座設定がされたことを評価する。</p>
改善方策	<p>・命の尊さを啓発する活動については、今後も生徒の様子を勘案しながら充実を図る。</p>	
組織運営	<p>校務分掌や学年団、委員会等の校内組織を効果的に運営する。</p> <p>○ 分掌を再編成し業務を整理した。</p>	<p>適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>・各分掌の業務を精査するとともに、よりわかりやすい業務分担とする。</p>	
研 修	<p>ア 授業や指定事業等及び健康安全指導の改善並びに新しい事象や課題等への対応に努める。</p> <p>イ 校内の研修実施体制を整備する。</p> <p>○ さすまたを使用した夜間不審者対応に関する研修を設定するなど、安全な学校づくりに向けて全教職員で共通理解を図った。</p>	<p>適切な評価をしている。</p>
改善方策	<p>・計画的な研修とともに、適宜必要とされる研修を行う。</p>	
保護者・地域との連携	<p>ア P T Aや関係団体との連携の充実に努める。</p> <p>イ 地域の自然や文化財、専門家などの教育資源を活用する。</p> <p>○ 各種講座や防災学校等において、多くの地域人材にご協力を願い、本校定時制の教育活動を推進することができた。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>保護者の理解を得る努力が必要である。</p> <p>連携の充実に向けて努力していることは表ができるが、それば保護者にあまり理解されていない点は残念である。</p> <p>学校祭以外で学校に来られる機会（授業参観・オープンスクール・芸術鑑賞など）を企画するとよい。</p>
改善方策	<p>・P T A活動の周知のために、連絡手段を活用して対策する。</p>	
施設設備	<p>施設設備の安全・維持のための取組に努める。</p> <p>○ 重点目標は概ね達成できた。事務室を中心</p>	<p>適切な評価をしている。</p>

	として取り組むことができている。	
改善方策	・引き続き、酷暑期の熱中症対策に向けた設備の拡充・有効活用に努める。	
その他	<p>ア 学校の状況を踏まえた重点目標等の設定が適切である。</p> <p>イ 教育活動に関する生徒、保護者の満足度の把握に努める。</p> <p>ウ 在校等時間の縮減を図り、自身の心身の健康に気を配り、ガイドラインやルールを遵守する。</p> <p>○ すべての教職員が、勤務時間内に業務を完了することができるよう計画的に遂行することができた。</p>	<p>適切な評価をしている。</p> <p>全日制とは違う取組があり、先生方の努力を充分に感じている。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な重点目標等の設定に向けた議論を進める。</li> <li>学校評価アンケートを通じて生徒・保護者の満足度の把握に努める。</li> <li>適切な勤務時間を管理して、法令や規則を遵守しながら、教職員の健康を守る。</li> </ul>	
公表方法	・自己評価の結果を全教職員及び学校評議員、PTA役員に公表するとともに、学校HPにも掲載した。	

### 3 添付資料

(1) 令和7年度学校関係者評価（学校評議員5名）		5葉
(2) 令和7年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	教員用アンケート 集計	1葉
(3) 令和7年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	保護者用アンケート 集計	1葉
(4) 令和7年度北海道室蘭栄高等学校定時制課程学校評価	生徒用アンケート 集計	1葉